

令和3年度第1回廃校予定施設の利活用に係る地域との意見交換会（細川地区） 議事録

- 1 日時 令和4年3月17日（木） 午後7時～午後8時30分
- 2 会場 細川町公民館 大会議室
- 3 出席者 地域（細川地区）：代表者9名（5名欠席）
地域（口吉川地区）：代表者4名
オブザーバー：中尾議員
市：総合政策部長、総務部長、産業振興部長、教育総務部長、企画政策課長、財政課長、経営管理課長、ゴルフのまち推進課長、教育施設課長、細川町公民館長
- 4 意見交換の内容

（地域）

地域が星陽中学校を活用する範囲は、校舎全てを活用しないといけないのか。

（市）

例えば、校舎の一部を地域で活用していただいて、残りを民間事業者を活用してもらうなども可能である。

（地域）

星陽中学校を豊地小学校として活用することは可能か。星陽中学校の活用としては一番良いと思うが。

（市）

今、この場では答えられないので、意見を持ち帰り教育委員会で検討し、再度回答させていただく。

（地域）

高齢者が多く、人口減少が続く地域で星陽中学校の跡地を活用するに当たって、町民だけの施設利用で維持していくことは難しい。

(地域)

廃校利活用の成功事例などがあれば提示していただきたい。町民が運営するのは難しいと思う。

(市)

事例については、情報提供させていただく。

(地域)

集客施設は難しいと思う。人口増につながる利活用や更地活用なども検討してはどうか。

(地域)

星陽中学校の売却額や解体費はいくらぐらいか。また、旧中吉川小学校及び旧上吉川小学校の利活用については、公募型プロポーザルにより事業者を選定することだが、プロポーザルの審査に地域は参加できるのか。

(市)

売却額は不動産鑑定をしてみないとわからない。また、プロポーザルの審査には地域の方にも参加していただく予定である。

(地域)

地域での利活用については何年程度継続する必要があるのか。

(市)

特段年数は決めていないが、市がイニシャルを負担する以上、一定の継続性を確認させていただく。

(地域)

行政としての活用案を地域に複数提案できないのか。

(市)

庁内で行政による活用について検討したが、ゴルフの拠点施設としての活用以外には市として活用することはない。

(地域)

地域だけで星陽中学校の活用について検討する機会が必要である。

(市)

志染地区や吉川地区でも地域で協議をされているので、そういった検討の場を持っていただきたい。

(地域)

地域が実施する内容でランニングコストを賄えるほどの収益を上げるのは無理がある。市で検討していただきたい。

(市)

地域で使う範囲を絞っていただくと維持管理費用も抑えられる。また、活動内容に対して、既存の補助金等を活用していただくことも可能である。

(地域)

細川は藤原惺窩の生誕地でもあるので、教育や文化的な公共施設を市で整備してもらいたい。

(市)

廃校施設を市が公共施設として整備することはない。

(地域)

地域内で星陽中学校の地域活用について意見集約をすべき。

(地域)

市との意見交換会は年間で何回程度実施するのか。また、地域案を検討する上で期限はあるのか。

(市)

年間で何回とは決めていない。適切なタイミングで実施する。検討の期限は決めていないので、地域の方が納得できるまで検討いただきたい。

(地域)

星陽中学校は避難所に指定されているが、避難所としての取扱いはどうなるのか。

(市)

活用の仕方によっては、避難所として指定できなくなる場合もある。その場合は、他の施設を指定するなどして対応する。

(市)

次回の開催に向け、地域まちづくり担当職員にも相談いただきながら地域で意見の出し合いや集約を行っていただくようお願いする。必要があれば、市側の担当課等も参加させていただく。